

<b>区分</b>	専門分野	<b>単位</b>	2単位
<b>科目名</b>	経過別実習Ⅱ	<b>時間数</b>	90時間
<b>講師名</b>	専任教員	<b>履修学年</b>	2年次
<b>概要</b>	救急医療現場の看護の実際をとおしてクリティカルな状況にある対象の看護の特徴と看護師の役割を学ぶ。		
<b>学習目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機能不全、治療のための生体侵襲による生命危機状態にある対象の理解と異常の早期発見のための観察の重要性が理解できる。</li> <li>2. 集中的に治療・看護を必要としている状況における異常の早期発見のための観察の重要性が理解できる。</li> <li>3. 二次的障害を予防し、集中治療を受ける対象の生活を整える援助が理解できる。</li> <li>4. 特殊な環境や生命危機状態の治療・処置に対する不安・恐怖心からの精神的問題の予防対策・援助および家族への精神的支援の重要性が理解できる。</li> <li>5. 保健医療チームの役割と多職種・多部門との連携について理解できる。</li> </ol>		
<b>授業内容（実習内容）</b>			
<p>実習場所： 市立函館病院（ICU・ECU・救急外来） 市内消防署</p> <p>実習方法： 3週間の日程の中で実習を行う。 経過別実習Ⅱオリエンテーション（2h） ICU(32h) ECU（32h） 消防・救急外来・学内（24h） 見学実習を主として指導のもと実践する。</p> <p>実習内容： 別紙参照</p>			
<b>使用教科書・教材・参考書</b>			
各実習先で必要な教本を参照			
<b>成績評価の方法</b>			
出席状況、毎日の記録の提出、実習目標の達成度、実習姿勢、記録物による総合評価			
<b>備考</b>			
<p>実習準備・オリエンテーション実習開始前に行う。</p> <p>実習前に課題レポートを提出する。</p> <p>実習期間中は、自己の健康管理に十分留意する。</p>			